

今井城学園 職員行動指針

「子どもの最善の幸せのために」

平成24年2月1日制定

児童養護施設 今井城学園 倫理委員会

今井城学園 職員行動指針

前文

私たち今井城学園職員は、全国児童養護施設協議会（全養協）制定の倫理綱領に基づく行動指針を策定し、施設で生活する一人ひとりの子どもたちの権利を擁護する立場を明確にします。

1. 私たちは、子どもの利益を最優先した養育をおこないます。

- ファミリーソーシャルワーカーとして
子どもの自己実現と自立のために、子ども・保護者・児童相談所・他の関係機関と連携し、総合的な家族調整を行います。
- ケアワーカーとして
子どもの最善の利益を第一に考え、日常生活を通して子ども一人ひとりに合った支援を行います。
- 心理士として
心理士は、特に臨床心理学的視点から子どもを見立て、それに基づいた支援を行います。
- 学習指導員として
子どもが自己実現と自立をするために必要な、知識・学力・問題解決能力等が身に付くよう指導します。
- 調理職員として
食事を通じて子どもたちの健康を管理し、成長するために必要な栄養を提供します。また、将来にわたって健全な食習慣が身に付くように子どもたちに『食育』を行います。
- 事務職員として
子どもに必要な支払い請求があった時には、速やかに払い出しの準備をし、希望日に間に合うようにします。

2. 私たちは、子どもの理解と受容、信頼関係を大切にします。

- ファミリーソーシャルワーカーとして
家族の背景に焦点を当て、主訴を含め主訴の背後にどのような問題とニーズが絡んでいるかを明らかにした上で、子どもを理解し受容するところから信頼関係を築きます。
- ケアワーカーとして
子どもの意見に耳を傾け、常に受容の姿勢を心掛けます。
子どもに一番近い立場として、多角的に子どもを捉えるように心掛け、特性を理解します。
子どもとの間に形成される信頼関係を大切にします。
- 心理士として
子どものニーズを把握し、関係を形成することに努めます。
- 学習指導員として
学習指導は子どもとの信頼関係のもとに成り立つことを自覚し、自らの言動に細心の注意を払います。
- 調理職員として
子どもと共に調理し食事をする機会を通じて、子どもを理解し、信頼関係を築いていきます。
- 事務職員として
事務所で見せるその子らしさを受け止め、子どもが理解し易い言葉を選んで会話をするように心掛けます。

3. 私たちは、子どもの自己決定と主体性の尊重につとめます。

- ファミリーソーシャルワーカーとして
子どもの自己決定と主体性を尊重する視点に立ち、子どもと家族が選択し活用できる資源の提供を行います。
- ケアワーカーとして
子どもが自己選択・自己判断・自己決定が出来るような、自立支援計画を作成します。
子ども自身が目標を持てるように、必要な情報をその都度提供・助言をします。
- 心理士として
子どもの思いを最優先し、理解に努めます。また、必要に応じて他職種との連携を行った支援をします。
- 学習指導員として
指導を受ける子どもの意見や思いを尊重し、子どもが主体的・意欲的に学べる学習方法を工夫します。
- 調理職員として
献立の作成や調理において、子どもの好みや意見を尊重し取り入れていきます。
- 事務職員として
進学、就職等で必要な資金についての情報を子ども、保護者およびケアワーカーに提供し、説明を行います。

4. 私たちは、子どもと家族との関係を大切にしたい支援をおこないます。

- ファミリーソーシャルワーカーとして
子どもの思いを親に伝え、親の思いを子どもに伝え、子どもと親・家族の架け橋となります。
- ケアワーカーとして
家族が学園行事・学校行事に参加できるように、事前に案内をします。
家族についての悩みや不安を解消できるように、親身になって子どもの話を聞き、助言をします。
子どもとその家族の置かれた状況や意向を受けとめ、より良い協力関係を築きながら、子どもの支援を行います。
- 心理士として
子どもの家族歴、生育歴を理解し、留意しながら関わります。
- 調理職員として
子どもの家族に、食に関する情報提供を行い、家族が健康な食生活を送れるよう支援します。
- 事務職員として
家族からの問い合わせがあれば、速やかにケアワーカーに連絡を行います。また、窓口・電話での対応は、相手に不快な思いをさせないように心掛けます。

5. 私たちは、子どものプライバシーの尊重と秘密を保持します。

- 全職種共通
子どものプライバシー（時間・空間・持ち物など）を尊重します。
業務上知り得た情報は、第三者へ漏らしません。

6. 私たちは、子どもへの差別・虐待を許さず、権利侵害の防止につとめます。

- 全職種共通
いかなる差別・虐待・人権侵害もしません。
常に子どもの人権が侵害されていないか気を配ります。
子どもたちに自他の権利を尊重する気持ちを育みます。

7. 私たちは、最良の養育実践を行うために専門性の向上をはかります。

- ファミリーソーシャルワーカーとして
子どもやその親・家族が持つ力を尊重し、将来に向けての対応能力が高められるように常に専門知識の習得に努めます。
- ケアワーカーとして
専門職としての責務を果たすため、様々な研修に積極的に参加し、専門性の向上を図ります。
施設内外の同職種・他職種との情報や意見の交換を積極的に行い、自己研鑽に努めます。
- 心理士として
スーパーヴィジョンや研修を定期的に受講し、業務に還元します。
- 学習指導員として
学習指導に携わる者として、自己の学力・指導力の向上を図ります。
教育界の動向にも常に関心を持ち、その時々の変化に対応しながら子どもを指導していきます。
- 調理職員として
積極的に研修に参加し、栄養や調理についての知識や技術などの専門性の向上に努めます。
- 事務職員として
会計の業務を正確かつ迅速に行うため、積極的に研修に参加し、業務の向上に努めます。

8. 私たちは、関係機関や地域と連携し、子どもを育みます。

- ファミリーソーシャルワーカーとして
他職種・他機関と連携し、子ども・親・家族に最善の社会資源の提供に努めます。
- ケアワーカーとして
関係機関との情報交換・情報共有を心掛けます。
関係機関と連携し、子ども一人ひとりに最適な支援を行うよう努めます。
- 心理士として
必要に応じて、児童相談所・学校・医療機関などと連携し、子どもの支援に繋げていきます。
- 学習指導員として
子どもの希望する進路の実現を目指し、担当職員や関係機関と協力しながら支援していきます。
- 調理職員として
アレルギー疾患などを持つ子どもがいた場合、医療機関と連携し症状に応じた対応を行います。
- 事務職員として
関係機関や地域からの招待行事等があるときはケアワーカーを通して子ども達に知らせます。

9. 私たちは、地域福祉への積極的な参加と協働につとめます。

- ファミリーソーシャルワーカーとして
施設の持つ専門知識を活かし、地域社会に積極的に働きかけ、子育て支援の一助を担います。
- ケアワーカーとして
施設のもつ専門知識や技術を活かして、地域の子育てを支援するための活動を行います。
子どもに地域の一員としての認識を育むため、自治会など地域の活動に、積極的に参加します。
- 心理士として
児童養護施設の心理士について、その役割を伝えていくことに努めます。
- 学習指導員として
専門知識や経験を生かし、施設の行事や「今井城学園通信」を通じて地域の子育て支援に努めます。
- 調理職員として
「今井城学園通信」などを通じて、栄養や調理についての専門知識を広め、地域の子育て支援に努めます。
- 事務職員として
関係機関や地域への広報活動を積極的に行います。

10. 私たちは、常に施設環境および運営の改善向上につとめます。

●ファミリーソーシャルワーカーとして

子どもとその親・家族にとって、施設が安全で安心な場所であるよう常に環境を整え、情報を提供し、透明性のある運営が行われるように努めます。

●ケアワーカーとして

施設運営に携わる一員として、改善向上のための積極的な意見表明と行動を心掛けます。

●心理士として

心理士の視点から施設を把握し、フィードバックしていくことで、施設環境をととのえていくことに関わります。

●学習指導員として

子どもが安心して学習に取り組める環境を整えるため、施設長や関係職員と連携し、改善に努力します。

●調理職員として

厨房施設・設備・食材は、常に点検し清掃を心掛け品質管理の徹底に努めます。

●事務職員として

子どもが安心して生活できるように、改善すべき点は、施設長に速やかに報告をし、施設環境を整えます。

補助金等申請を滞りなく遂行し、園の安定した財務状況を維持できるように業務を展開します。

児童養護施設 今井城学園 倫理委員会